

『説得するのではなく、気にさせる』～心を結べる人～

順天堂大学大学院修士課程(医科学コース)講義『がんと遺伝子』で、授業『がんの定義、自然史と介入』(19:45～21:15)(センチュリータワーに於いて)を担当し、終了後、玄関で、偶然に順天堂大学医学教育・上部消化管外科 国際共同研究機構研究センターの折田創先生と久しぶりにお会いした。帰宅中の東京メトロ丸ノ内線(池袋行き)の電車の中で、『真の国際人～医療と患者をつなぐ架け橋～』の市民公開シンポジウムを企画しようとの話で大いに盛り上がった。まさに『説得するのではなく、気にさせる』の心得である。

『真の国際人～架け橋～』の5ヶ条

- ① 自分の力が人の役に立つと思う時は進んでやれ
- ② 人の欠点を指摘する要はない、人のあやまちは語るには足らぬ
- ③ 理由があっても腹を立てぬこそ非凡の人
- ④ 感謝は優しき声に表れる
- ⑤ 心がけにより逆境も順境とされる

来年(2025年)は、新渡戸稲造(1862-1933)が、軽井沢で在住(1905)して120年周年でもある。軽井沢で講演会が企画される予感がする(画像)。

新渡戸稲造が、愛読したカーライル(Thomas Carlyle :1795-1881)の『サーター・リサータス：衣装哲学』の『“Do thy Duty, which lies nearest thee, which thou knowest to be a Duty” (汝の義務を尽くせ。汝の最も近くにある義務を尽くせ、汝が義務と知られるものを尽くせ)』&『真に偉大なる人とは、青年と心を結べる人なり』(新渡戸稲造)の復習の時である。

アメリカ、ドイツへ留学した新渡戸稲造は1891年メリー・エルキントン(1857-1938)と結婚し一緒に帰国した。新渡戸稲造は、軽井沢へは1905年に、メリー夫人と共に訪れ別荘を設けて避暑生活を行っている。『明治初期は人口わずか500人だった信州の寒村が日本でも有数なリゾートになった理由がここにある』とも言われている。

開校記念 公開シンポジウム



日時：2017年7月17日(月・祝日)13:00～16:00

【挨拶】本郷 一博 信州大学医学部附属病院 前病院長 脳神経外科教授
【朗読】青木 裕子『武士道』新渡戸 稲造 著
軽井沢朗読館 館長(元NHKアナウンサー)
座長：北澤 彰浩 佐久総合病院 地域ケア科医長



【基調講演】樋野 興夫『21世紀の軽井沢がん哲学学校』の現代的意義
順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授(一般社団法人がん哲学外来理事長)
座長：小泉 知展 信州大学医学部附属病院 信州がんセンター長



【がん哲学外来カフェ】お気軽に対話しましょう ※裏面よりお申込下さい
萩原 菜緒 佐久総合病院 地域ケア科医長「あうんの家カフェ」etc

【会場】：シオン軽井沢 2階 会議室AB (開場 12:30)

【定員】：56名 無料 ※裏面よりお申込下さい

新渡戸稲造が1918年に開講した「軽井沢通俗夏季大学」の初代学長を務めた軽井沢で、『軽井沢夏季がん哲学学校』の開校である。「明治初期は人口わずか500人だった信州の寒村が日本でも有数なりゾートになった理由がここにある」とも言われている。まさに、軽井沢には『想像力を刺激するものが数限りなくある』である。

日本人の3人に1人が、がんで死亡し、2人に1人が、生涯の中でがんにかかる時代。
がんに対する正しい理解と認識を深めることは、人間としての生き方を再確認して、生きる力に変えていける方々が増えている。『人生に期待する』から『人生から期待される』生き方への変換である。
『純度の高い専門性と社会的包容力』を備え、『病気であっても、病人でない』の社会構築は、これからの人類の進むべき方向であろう。

がん患者さん、ご家族やご遺族、がん医療に携わる医療スタッフ、がん領域に興味をお持ちの方々が集い、各々の立場の垣根を越えて「がんについて、人生について」を一緒に語らしましょう。

※お申込み裏面参照

※会場の都合上、定員となり次第お断りする場合がございます。ご了承ください。

主催：軽井沢夏季がん哲学学校
協賛：東邦ホールディングス、東邦薬品、ファーマクラスター、共創未来ファーマ
後援：信州大学、信濃毎日新聞、佐久総合病院、軽井沢朗読館、「追分あうんの家」

新渡戸稲造生誕160周年記念 軽井沢サマーセミナーのご案内 「新渡戸稲造博士の足跡をたどる」

第一部講演 新渡戸稲造の生涯～ライフ・サイクル．．
第二部講演 人生邂逅～普遍的な人間関係の要～

日時

2022年8月3日(水)

時間

第一部 10時-11時半
第二部 13時-15時半
(受付9時半より)

場所

軽井沢観光振興センター会議室

長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢470-3 ☎0267-41-5001
(軽井沢駅より徒歩15分、タクシー5分)



第一部

第一部講師



角谷晋次先生
元岩手大学教授
カナン学園理事、
新渡戸基金評議員、
教育学博士

第二部

第二部講師



樋野興夫先生
順天堂大学名誉教授
恵泉女学園理事長
新渡戸稲造記念センター長
がん哲学外来市民学会代表

第一部 開会講演「新渡戸稲造と軽井沢」
国際基督教大学常務理事
富岡徹郎

第二部 パネルディスカッション
司会/パネラー 軽井沢南教会牧師 宮澤豊、
万座温泉 日進館相談役 大野克美、市村雅昭 他

入場無料、定員60名(申し込み先着順)

参加者は、検温とマスク着用をお願いします。

申し込み先：日本キリスト教団軽井沢南教会(軽井沢町発地 296)

宮澤 豊 Tel 0267-48-3193 Fax 0267-48-3228 または

メール karuizawa1906@gmail.com QRコード

主催 新渡戸稲造記念セミナー事務局(軽井沢南教会内)
後援 軽井沢町教育委員会、信濃毎日新聞社、軽井沢司牧会

